

受験生応援サイト「よくある質問」

オープンキャンパス等でよくある質問と、それに対する回答をまとめました。

Q:なぜ奈良女子大学生生活環境学部食物栄養学科に進学を決めたのですか？

A:大まかに言えば、全てが「ちょうどよかった」です。管理栄養士養成課程を持つ国公立大学の中で、徳島大学や大阪公立大学は医療系に重きを置いている印象でした。それに対し、お茶の水女子大学、奈良女子大学は、医療系だけでなく給食や公衆栄養、調理科学など幅広い分野の勉強ができそうだと思います。また、管理栄養士の資格に加え、中高家庭科教員免許の取得を目指していましたが、お茶の水女子大学の食物栄養学科では中高家庭科教員免許が取得ができないため、奈良女子大学にしました。さらに、私は奈良の出身ではないのですが、新しい土地に住むこと、修学旅行で行くような観光地の中心に住むことに胸が踊りました。また、学科が少人数で先生との距離も近く、学食も美味しいということを個別相談で聞き、奈良女子大学に惹かれました。

Q：他学科との交流はありますか？

A:一般教養、外国語の授業などで交流する機会があります。特に、1,2年次に開講される英語の授業は共通テストの得点でクラス分けがされるため同じレベルの仲間同士で分からないことを相談したり英語でコミュニケーションを取ったりすることができ、とても楽しかったです。また、近鉄奈良駅から連なる商店街は奈良女生が多くアルバイトをしているため、アルバイトをきっかけに他学科の同級生、また同学科の後輩と仲良くなることもできました。

Q:研究室はどんなところがありますか？

A:臨床に関する研究室、微生物など食品衛生に関する研究室、きのこに関する研究室など生物系の研究室や、栄養化学系の研究室、食品の成分や調理に関する研究をしているところなど様々です。

Q:受験勉強法を教えてください

A:共通テストおよび2次試験は基礎がしっかりできていれば、解ける問題だと思います。むやみに難しい応用問題ばかりを解くのではなく、基礎問題を確実に取る方が合格には近いと思います。

2次の英語・数学対策では、過去問はもちろんですが、同レベルまたは一つ上のレベルの大学の問題を解くのもありかなと思います(大阪公立大、神戸大)。

Q:文系でも受験できるでしょうか？

A:入試形態としては文系を専攻している学生も受験可能です。比率的には理系科目で受験してきた学生の方が多いですが、文系科目で入学してきた毎年学生もいます。

Q:大学の勉強は大変だと思いますが、部活やサークル活動にも参加できますか？

A:自身が部活とサークルを掛け持ちしているため、可能だと思います。

実習や実験が長引く日は部活などは参加できませんが、基本は参加可能です。

始まる時間などをしっかり確認した上で入るのが良いと思います。

学科以外の子との交流の場でもあり、息抜きできる場でもあるため、興味があるなら入ってみるのが良いと思います。

Q:なぜ奈良女に入ったのか

A:私の場合、まず食べることが好きなので、どの大学かを考える前に、食物栄養学科に行きたいと思い、食物栄養学科で大学を探しました。その中でも、第一志望は経済的理由から、国公立に絞りました。あとは、やっぱりオープンキャンパスに行った時に感じた雰囲気ですね。きれいな校舎(D棟)とか、記念館や正門のかわいらしさ、落ち着いた雰囲気の奈良女を気に入って、この大学に決めました。あと、1学年が40人未満で学年みんながクラスみたいに仲がいいことや、先生との距離が近いことも奈良女の良いところです。

Q:なぜ奈良女に入ったのか

A:なぜ奈良女に入ったか…栄養を学びたくてかつ国立となるとお茶女と奈良女しかなくて、でも根っからの文系で数学できなかったから国語受験ができる奈良女を志望した。また、奈良という土地が落ち着いて勉強するには向いているかと思ったことと、奈良女も歴史があるし、将来女性が自立して社会で生きていくために何か学べるか(みんな自立意識が高いかなと)と思ったから。

Q:他の管理栄養士コースのある大学と比べて奈良女子大学の良いところ

A:同級生にまじめな人が多いので、自分も頑張ろうと思えます。また、奈良という環境は安心して一人暮らしができます。国立であるため、私立と比べて授業料は安く、研究も1年間しっかり行なえるところも良いと思います。

Q:サークル、アルバイトをしている人はどのくらいいるか

A:アルバイトはほとんどの人がしている。部活やサークルにもほとんどの人が入っている。奈良女の部活に入っている人もいれば、他大学との合同サークルに入っている人もいます。

Q:学科の雰囲気は?

A:他学科に比べて忙しく大変。しかしハードなカリキュラムでも乗り切れる体力と強い精神力を持った学生が多く、テストはしっかりとみんな勉強してくる。カンニングなど悪いことはしない。ずっとみんな同じ授業を取る所以で団結力は強い。様々な実習で違う人とグループ組んで課題に取りかかるため、ほぼ全員と仲良くなれる。みんな食べることが大好きで、和やかな人が多い。真面目で責任感が強い人が多い。

Q:女子大って怖い？

A:全然そんなことはない。真面目で大人の良識を持った人が多いと思う。想像しているような女子同士のいざこざ、いじめは私が知る限り一切ない。皆好きなように友達関係を構築している。

Q:大学に入ってよかったこと

A:授業や実習を通じて食物に関する知識を深められたことがよかったと思います。また、一生付き合える友達と出会えたことがとてもよかったと感じています。

Q:奈良女の雰囲気は？女子大は怖くない？

A:私も女子大と言われると、ドロドロしていて女の戦いが頻発しているイメージをもっていました。少なくとも奈良女子大の学生はみんな大人で優しく、とても仲がいいです。全然怖くありません！特に食物栄養学科は真面目な子が集まっていると思います。

Q:奈良女子大学のいいところ

A:奈良という古都にあり、興福寺、東大寺、春日大社、ならまち、国立博物館にすぐに行けるというように、専攻の勉強だけでなく歴史に触れられるチャンスがたくさんある立地であること。奈良女子大学自体にも記念館がある。こじんまりして一つのキャンパスの中ですべての授業が受けられるので移動が楽。学食が美味しく安い。セキュリティが一応整った環境である。

Q:入試では文系・理系を問われますか？

A:健康について総合的な知識を身につけた人材を育成するため、いわゆる文系型と理系型の両方の受験型を選択できます。詳細は、『入学者選抜要項』をご覧ください。

Q:どのような授業科目がありますか？

A:1、2年次は多彩な基礎科目群の中から、学科共通科目や3つのコースの専門基礎的な内容を幅広く学習します。3年次にコース分属をした後も、ブリッジ科目をはじめとして、他コースの科目も受講でき、自分の興味関心に合わせた学習を進めることができます。

Q:コースに分かれるのはいつですか？

A:3年次より各コースに分かれます。基本的には学生の希望を尊重して決めます。ただし、特定のコースへの希望者数に偏りがある場合には、1、2年次の成績によって総合的に判断します。

Q:卒業研究はありますか？

A:はい。卒業研究を通じて、自らの課題に取り組むことによって、問題解決のための実践力や応用力を養います。

Q:学科の行事はありますか？

A:新入生の歓迎会(4月)、スポーツ大会(11月)、卒業論文発表会(2月)などがあります。

Q:公認心理師の受験資格はとれますか。

A:必要な科目単位を取得し卒業した上で、大学院でも必要な科目単位を取得する必要があります。

Q:臨床心理士の受験資格はとれますか。

A:大学院に行く必要があります。

Q:教員免許はとれますか？

A:必要な科目単位を取得し、高等学校教諭一種免許状(保健体育、家庭)、中学校教諭一種免許状(保健体育、家庭)を取得できます。

Q:運動が得意でなくてもスポーツ科学コースの実習や演習は大丈夫ですか？

A:コース名に「スポーツ」とありますが、特に高い運動能力が要求されているわけではありません。「人間のこころやからだとじっくり向き合ってみたい」という自己や他者のからだへの興味関心をもっていることが重要です。